



開場50周年を迎え、若年層に向けた様々な施策をさらに強化していきます

塩嶺カントリークラブ（27日、長野県塩尻市）は長野県内では唯一の上田治氏設計で、昨年5月に開場50周年を迎えた。

それに伴い、老朽化していた女性の浴室やロッカールームなど、女性施設の全面改修や名義書替料減額キャンペーン等の実施だけでなく、子会社であるゴルフ場練習場と連携し、ゴルフ未経験者への施策等に取り組んでいる。

また、同CCCを経営する信州塩嶺高原カントリー倶は、昨年4月18日に定時株主総会と取締役会を開き、常務取締役であった山田祥

雄氏（43歳）が代表取締役社長に就任した。

今回は、社長に就任後1年近く経過した同CCCの山田祥雄社長に開場した経緯を振り返ってもらうとともに、様々な施策への想いについて詳しく話を聞いた。

まず開場の経緯について教えて下さい。

山田 当クラブが開場したきっかけですが、私の父である山田正治（現・取締役会長）が創業者です。当時はゴルフ場周辺には道路も何もなく、過疎化となっていた地域でした。地元の市議会議員の方から「何か誘致事業しなければ、雇用の場も作れないし、道路インフラも良くならない」といった声があり、塩尻市の誘致事業の一つとして私の父に白羽の矢が立ち、1973年にゴルフ場と別荘地を開発しました。現在で言う「地方創生」の先駆けだったのではないかと思います。地域に求められて造った50年経つゴルフ場で、昨年の節目で私が社長に就任しました。就任後、若い会員様を中心に「時代に合ったサービスをゴルフ場に取り入れてほしい」といった数居は下げてほしい」といった

要望を多数いただきました。私は常務時代からゴルフ場運営は概ね任せられ、すべての取り組みを主導で行っていましたので、社長に就任後もスムーズな経営ができた1年だったと感じています。

昨年開場50周年を迎え、様々な施策に取り組みしましたね。

山田 まず、老朽化していた女性の浴室やロッカールーム、脱衣室など女性施設を全面的に改修し、昨年4月1日にリニューアルオープンしました。男性のお客様と同じ料金を支払っていただいているわけですから、女性客にもっと快適なサービスや施設を提供したいと考えていました。満足度に差があるようにとお客様に対して失礼ですし、同じフィールドをサービスとして提供したい——という想いから改修工事を行いました。改修後の女性のお客様からの反応がすごく良いです。この改修は集客要素ではなく、会員様をはじめ、来場いただいている女性のお客様を当たり前に満足していただくことが狙いです。改修の前に女性の会員様20名からヒアリングし、その要望すべてと私の考えを集約し、すべてを形にしました。

また、開場50周年を迎えるにあたり、21年3月から22年11月までの期間限定で「名義書換料減額キャンペーン」を実施しました。内容としては名義書換料（正会員）が44万円（税込）から27万5000円（税込）とし、2名以上で同時に入会される場合はさらに5万5000円減額しました。なお、50歳以下の方は分割支払いも可としました。例年ですと50〜60名が入会、退会も50〜60名といった傾向でしたが、このキャンペーンにより、多数の方々に入会していただきました。

例年ですと60代前後が多いのですが、今回は40代の入会が目立ちました。そして、2名以上で同時に入会される場合が非常に多かったです。会員の総数を変えない範疇で募集は継続して行っていくますし、もっと若いゴルフアークが買ひやすい方法を考える必要があると思ひています。

—— 昨年の4月1日に松本市の練習場を子会社化することを発表したことと話題になりました。

山田 松本市の練習場「松本中央ゴルフセンター」を子会社化し、『並柳ゴルフガーデン』としてリニューアルしました。長野県内で

はゴルフ場が練習場を直接運営するのは珍しいケースです。当クラブの村上富雄支配人に子会社の社長も兼任していただひています。ゴルフ場の目線を持つてゐる方にゴルフアークの入り口である練習場に携わつてもらうことで、お客様に対して共通のサービスを提供するのが狙ひです。ゴルフ人口が減少してゐる中、初心者も通う練習場をグループに取り込み、ゴルフ場利用者の年齢層を広げることが目論見として挙げられます。コン

セプトは「練習場に遊びに来てもらえる場所にする」です。初心者の方でも楽しめるように「トップトレイサー」を21年12月に全打席（34打席）に導入し、エンターテインメント性を高めました。全長150ヤードと狭い練習場なので、ボールの行方や曲がり具合がわかりづらいというデメリットがありましたが、導入により飛距離の面で見える化をすれば狭い問題は解決する——といった考えも導入の背景にはあります。

また、2カ月に1回の頻度でゴルフ未経験者、初心者限定でプロが無料で教えてくれるレッスン（完全予約制でボール代のみ）を実施

しています。道具がなくても無料で貸し出してゐたりと、未経験者や初心者の方々に対して、ゴルフに馴染みやすい環境をできるだけ提供したいという想ひがあります。告知は当クラブの及び練習場のSNSのみで行つてゐますが、かなりの人気で毎回キャンセル待ちのイベントとなつてゐます。30代前後の女性の参加が多いです。

なお、毎週日曜にジュニアスクールを実施してゐますが、できるだけコースに連れていつてあげられるスクールを心掛けてゐます。通常ですと打席で打つケースが多いですが、コースでのレッスン回数を増やしてゐます。平日に限らず、土日でもゴルフ場が空いてゐる午後の時間帯があればどんどん開放し、できるだけ芝の上から打つ感覚を楽しんでもらいたいと思ひてゐます。初心者の方やジュニアに関しても、練習場からの送客という面で18日のデビューラウンドは当クラブで行つていただき、思ひ出を作つてほしいと考えてゐます。最終的には当クラブの会員になつてくれることが理想ですね。

—— 社長が発案の「40歳以下限定の施策」も好評だと聞きました。

山田 「40歳以下限定の土日祝18日プレー特別割引」と「40歳以下限定の毎週日曜に実施の若者ゴルフ体験（9ホール）」は、私が40歳の時に始めました。前者は4月から11月末まで土日祝のプレー代が1万1950円とし、クラブやシューズもレンタル無料（要予約）、1日10組限定といった企画です。

スタート時間の制限もなく、利用者が非常に多かったです。開始した理由ですが、定期的に練習場に行くのに本コースでプレーしない同級生が非常に多かったからです。そして、後者の企画も盛況で毎週日曜に30000円で実施してゐり、前者の企画同様に道具を無料で貸し出してゐます。最終組が出た後の1時半頃からスタートしてゐたでゐます。日曜を選んでゐる理由ですが、コース管理を毎週休み（作業は朝のみ）にしているからです。友人同士の他、カップルや夫婦で利用するケースが多く、毎週6〜8組は入つてゐます。今後はゴルフ場内を開放したイベントも開催し、ゴルフアーク以外の誘客にも注力してゐます。地元との距離感が近い施設づくりを引き続き進めてまいります。